よろこび

聖徒のための情報誌

平成29年(2017年)3月1日(水)
3月号

今月号の内容

(1面)全国の聖徒団を訪ねて
(2面)豊田市立正教会で寒行
　　聖徒の体験談
　　全国の聖徒さん紹介
(3面)日蓮大聖人の歩まれた道
　　よろこびちゃんの質問箱
(4面)よろこび法話
　　全国のよろこびちゃん

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会
会　長　末吉　觀道
編集人　松本　惠昌
購読料　1部　100円(税別)
毎月1回1日発行
日蓮宗霊断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

全国の聖徒団を訪ねて
～和歌山県有田郡養源寺聖徒団～

和歌山県有田郡養源寺聖徒団（守法秀聡団長）の養源寺の由来は約千年前までさかのぼる。その昔、一生のうちに法華経を六万部読誦する修行をしていた比叡山の天台僧・円善上人が熊野詣の途中、鹿ヶ瀬峠で命を落とす。しかし、死後も願力が抜けず白骨化しても法華経を詠み続けたという逸話が残っており、南北朝時代、大覚大僧正妙実上人が師・日像上人の流罪地にもなった鹿ヶ瀬峠を詣でた際に、弟子の郎妙上人をこの地に留め法華堂という草庵を結ばせた。これが養源寺の起源である。

また、山門、お堂には葵の紋がみられるが、これは現在の養源寺が紀州徳川家により寄進、建造されたものだからである。お万の方以来法華信仰に熱心であった徳川家の奥方、特に養源寺の大黒天を信仰したのが吉宗公の生母お由利の方であり、吉宗公は四男坊でありながら将軍にまで出世し、また吉宗公が子年生まれということもあり「出世大黒天」と言われ、年に一度の御開帳である大黒天祭礼は当時より今まで檀信徒のみならず近隣、遠方の人々の賑わいと共に続いている。

歴史ある養源寺本堂

堂々とした山門

聖徒の石橋重美さん家族は、「毎日の日課として、お守りを身に着けお題目をお唱えしていると、日々の生活が整い自然と安らかに過ごせます。お守りのおかげで健康で楽しくいられることを実感しています。お寺でみんなと話したり、住職さんのお話を聞いたり、お寺と関わり過ごせる日々はありがたいことだと思います。」と話され、大黒天祭をはじめお寺の行事を支える活気は一人一人の信仰心が基盤となっている。

(左)石橋康成さん (右)石橋重美さん

団長は、「私たちは色々なご縁をいただいて今があります。悩み、迷いの多い世の中ではありますが、法華経、お題目のご縁により少しでも安穏な日々を送れるように信仰を続けていただきたいと願っています。また私たちの過ごす普段の日々というのは、姿なき方々によって守られていることを月守の着帯によって実感していただき、日々の助け、力に変えていっていただけるよう、まずは自らが強い信仰を持って日々を過ごし、皆さんと共にご縁の輪を広げていきたいと思います」と語る。

団長に率いられ養源寺聖徒団は、多くの人々のお題目の響き渡るお寺としてこれからも続いていく。

(左)守法秀聡団長 (右)守法慶隆副団長

春は出会いの季節
～良き出会いは人を豊かにする～

日蓮宗霊断師会 霊断院 霊断部長
愛知県名古屋市 妙泉寺聖徒団団長
石黒泰良

なまじ知識や経験があると、つい自慢したり、はたまた他人の意見を聞かなかったりするのが私達ですが、それをすれば嫌われるだけでなく、本当に大切なものと出会うチャンスまで失ってしまいます。

神仏の前では地位や名誉や職業はまったく関係ありませんが、そこに集う聖徒団にはいろいろな職業の人が登場します。職業だけでなく、いろいろな経験や趣味、人生観を持った人が登場します。その人たちすべてに共通するのは、あなたの知らない世界を知っているということです。

もちろん、あなたもあなたでなければ語れない世界があります。「私はありふれた話しかできない」と思っていても、違う世界の人から見れば初めて聞く話だったり、知らなかった知識や情報が含まれていることが多いのです。

人との出会いは常に、自分一人では知りえない世界との出会いになります。

さあ、重いコートと心の殻を脱いで聖徒団に参加してみませんか？

聖徒団は同じ信仰を通した仲間の集まりです。お互い気軽に声を掛け合ってみましょう。

「この人はどんな話をしてくれるのだろう」という気持ちになれば、あなたの世界は大きく広がり、あなたの心は豊かになっていくでしょう。

第52回全国聖徒団結集身延大会
平成29年10月5日(木)・6日(金)

秋の身延山でお会いしましょう!

身延大会（第五十二回大会）に参加を予定する聖徒団の皆様は、宿泊先である宿坊・旅館等に早目のご予約をお願い致します。

宿泊先を特定出来ない聖徒団の皆様は、『日蓮宗霊断師会・九段事務所』までお問い合わせ下さい。

津軽宇田山 聞法寺

3月20日(月) 午前9時半より
「春季彼岸水子観音祭」
春彼岸一週間
午前5時20分より水行修行会

〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平舘元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住　職　工藤 堯幸・副住職　工藤 堯慎

妙正寺聖徒団
大橋　博和

3月25日（土）午前11時
春季彼岸会塔婆供養。
毎月1日午前10時　盛運祈願会
北海道妙正寺聖徒団
〒071-1423
北海道上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺　聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 佐野 **妙顕寺**

天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中！
●郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義　妙顕寺建設委員会
〒327-0843栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myoukenji.jp

日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団団長
新間　智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

九識霊断法の不思議
～聖徒の体験談～

七十二歳女性

もうすぐ結婚五十年（金婚式）を迎える、という奥さんがお寺に霊断に来ました。

夫婦二人で長年小さな文房具店を営んできましたが、二年前に元気が取り柄のご主人（七十五才）が突然脳梗塞で倒れたそうです。発見が遅れたが、生死をさまよい、一命は取り留めましたが大きな障害が残りました。寝たきり（植物状態）になり、反応はまったくない。それでも奥さんは誠心誠意、二年間ずっと付きっきりで看病をしてきました。

しかし、最近になって奥さんは気になることがあるといいます。

「担当になった若い看護師さんに対し、夫の表情が笑顔になっているように感じる。」

そう思い始めたら、ご主人が看護師に対して愛情を持っているように思えてきて、自分が看病する気持ちがどんどん薄れてきたのです。

友人に相談すると沢山励まされましたが、どうしても心が晴れません。

しばらく悩んでいると、友人に「自分の菩提寺でやっている『九識霊断法』でみてもらったら？」と勧められました。

「こんなことでお寺に…」と思いながらも、友人に手を引かれ、お寺の門をくぐりました。

団長上人にお会いし、今までの経緯と自分の胸の内を正直に話し、「夫の気持ちが私にあるか」と、初めての霊断をしていただきました。

最初は緊張しましたが「南無妙法蓮華経」を唱えるたびに、不思議と仏さまに包まれるような温かい気持ちになりました。

団長上人は優しい口調でこう言いました。

「安心してください。長年の看病疲れでご主人の態度がそういう風に見えているだけで、ご主人の気持ちは以前と変わらず奥さんにありますよ。」

「いつもいつも奥さんに感謝されています。ご主人の分もこの倶生神月守を一緒に持って、異体同心を実感してください。」

奥さんは霊断指導により心が穏やかになり、「夫は表現はできないけれど、自分に愛情を秘めてくれている」と思えるようになったといいます。

また愛情を持って看病が出来るようになった奥さんは、その後半年を二人で現世安穏、後生善処に生きました。

ご主人は、とても穏やかお顔で霊山浄土に旅立たれたそうです。

奥さんは、それからも毎月、盛運祈願会に参拝され、ご主人の供養を続けながら、今ではお寺の婦人部に欠かせない存在になっています。

自分で出した答えは、どうしても独りよがりの答えになっています。ひとりでは、なかなか答えが出ない時もありますね。

そんな時、お寺で九識霊断法を受け、お題目にお任せし、道を照らしていただきましょう。

※お題目の神秘を伝えるために本人の承諾をうけて、掲載させていただいています。

全国の聖徒さん紹介

富山県　利生寺聖徒団
恒川（つねかわ）　みきさん

昭和五十三年、恒川さんが四十三歳の時、日蓮宗の菩提寺の住職に勧められ、旦那さんが脳溢血で倒れたことを相談に来られたことが、聖徒としての仏縁でした。

その当時は、旦那さんが五十一歳、長女が高校一年、長男が中学一年でした。病気平癒の祈願の為、自転車で一時間以上かかりましたが、三年間毎月、必死でお寺へ通いました。

また旦那さんの看病や仕事の為にと六十歳を過ぎて免許を取得されるなど、女手一つで家族を支えました。恒川さんの信行もあり、旦那さんは七十歳まで寿命を頂きました。

お寺の行事は、身延大会も含めていつも参加されています。また、団長上人の菩提寺を大切にしなさいという教えを守り、菩提寺の行事にも当山以上に積極的な参詣をされています。

そのような恒川さんですが「自分はまだまだ足りない」と謙虚な信仰姿勢でおられます。お正月の御祈祷には家族でお参りに来られ、今年もお参りと畑仕事を頑張ると笑顔で言われていました。

愛知県豊田市立正教会で寒行

日蓮宗霊断師会霊断院霊断部主任
立正教会聖徒団団長
永田　完英

当山では寒の入りから節分会が行われる二月一日までの約一ヶ月間、寒行を行っている。二年前から三河管区の青年会有志と共に地域の安全を祈願するための唱題行脚を行うようになった。行程は約八キロ。時間に換算すると三時間半かけて行脚をする。

この日は教宣を配布しながら門前にてお経をあげる。寒風が吹き荒む中、一心に太鼓を叩きお題目を唱えることにより、地域の安心安全を願って歩き続ける。途中、聖徒の方が温かいお汁粉やお茶、終了後には夕食まで準備して下さる。「お陰様で安心して暮らせます」とのお言葉に、毎年身の引き締まる思いを抱く。

この行脚は師匠が三十年前に再興し、地域の伝統となりつつあるもの。この地域は宿場街として栄え、建物は景観維持のため、統制されており、古き良き時代にタイムスリップしたような印象を受ける。道中、道祖神も多数ありその前でもお経を読む。今後も絶やすことなく、神仏の加護、お題目による功徳を太鼓と音声に乗せて継続させていきたい。

第十回　ちからわく水行！
～地から湧く水をかぶって、力がわいた～

寒さ厳しい晴天の二月十二日、宮崎県龍雲寺聖徒団（吉田憲由団長）において、盛運祈願会に併せ、厄除け星祭り水行が行われた。

「ちからわく水行」と名付けられたこの水行は、地元で「水神さま」として祀られる湧水を使用している。今年で十回目を迎え、僧侶らと共に一般の方も水行に参加ができるのだが、毎年参加希望者が増え、定員一〇八名の枠があっという間に埋まってしまった。

寺の境内には朝市のテントが並び、向かい側の広場には結界が張られ、風に白い幣束がなびいている。「南無妙法蓮華経！南無妙法蓮華経！」聖徒の打つ団扇太鼓の音とお題目に迎えられ、ふんどし姿の男性や白衣姿の女性が、少し顔を強張らせながら樽を囲んだ「せーの、よっしゃー!!せーの、よっしゃー！」大きな掛け声とともに、水しぶきと歓声が上がった。７杯の聖水で身を清めると拍手が沸き起こり、皆の顔が清々しく光った。

その後、参加者を含めた二五〇名の方々が本堂で星祭りのご祈祷を受け、今年一年の無病息災を祈願した。

吉田団長は、地域の方々がお寺に来て力が湧いたと言っていただけて嬉しい、これをお寺とのご縁として聖徒を増やして行きたいと笑顔で語った。

身延山に行ってきました

千葉県
明和結社聖徒団
（加藤妙浄団長）

（左）板谷（イタタニ）妙子（タエコ）さん
身延大会は四回目です。ここに来ると心が落ち着きます。健康で、年に一回来れることがありがたいですね。

（右）関口（セキグチ）洋子（ヨウコ）さん
身延大会は七回目です。身延山は空気が違いますね。今回も来れてとてもありがたいです。お上人のお蔭ですね。

愛媛県
法華寺聖徒団
（讃岐英昌団長）

（左）松木（マツキ）玲子（レイコ）さん
身延大会は今年で十回目です。去年は七面山に登りましたよ。ご来光がとても良かったです！

（右）岡（オカ）シズエさん
身延大会は十五回目です。去年は病気で入院しましたが、ベッドでお題目を唱えて元気になりました！今年も来れて良かったです。

観念と現実を一致させていきましょう
～全国講師研修会開催～

一月十二・十三日、名古屋市のアイリス愛知に於いて教学・霊断法解説講師合同研修会が開催された。全国から二十名の講師先生が参加して全国の霊断師を育てるため、全国の悩める聖徒さんを救済していくために二日間共に学びあった。

一日目は霊断師養成講習会テキストに添って研鑽を重ねた。

新人講師である吉野俊幸先生、伊藤秀温先生の初々しくも誠実な講義から始まり、講義の中でのポイントを小泉輝泰教学部長より講義指導があった。二日目は霊断法で、石黒泰良霊断部長が講義をなされ、その後、参加者の実習が行われた。今回参加された先生方が二十九年度の全国の研修会、養成講習会の講師として出向する。

血沸き肉躍る、実り多き研修会であった。

よろこびちゃんの質問箱

よろこびちゃん

啓蟄（けいちつ）ってなに？

啓蟄とは、二十四節気の一つで太陽の黄経が三四五度になったときをいい、現行の太陽暦で三月六日頃、二月節気のことをいうのよ。

「啓」は「開く」の意味、「蟄」は「虫などが土で冬ごもりする」という意味で、「虫などが土で冬ごもりしている状態」が「開かれる」ということで、「冬ごもりの虫が這い出る」という意味になるのよ。

つまりは、「あったかくなってきましたよね」「もう春ですね～」という日で、「さぁ働くぞ」と意気込み始める日のことなの。

また、この時期は三寒四温で、一雨降るごとに気温があがり、春に向かって日差しも徐々に暖かくなっていくわね。

昔は、この頃初雷（はつかみなり）が鳴り、これを聞いて虫が土中からはい出すと考えたので、「虫出しの雷」とも言われていたの。

でも「余寒いまだ尽きず」といった天候の季節にあたり、年によっては南国でも一時、雪になったりもするから油断しないようにしなくちゃ。

日蓮宗のお寺によっては、悪い虫が出てこないよう、良いことがどんどん成長していくように、啓蟄の御祈祷をするお寺もあるのよ。

みなさ～んもうすぐ春ですね～

倶生神月守を着けて心穏やかに春の訪れを待ちましょう！

ほっと絵手紙

宮崎県の大橋厚子さんの絵手紙です。ありがとうございました。

第六十五回 日蓮大聖人の歩まれた道

諸国への遊学（その十八）

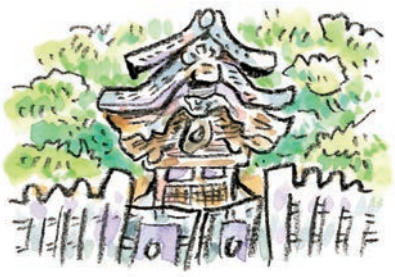
霊断院教学部長　小泉　輝泰

「上宮太子と申せし人、漢土より始て佛法渡させ給て、其より以来于今七百余年の間、一切経並に法華経はひろまらせ給て、上一人より下万民に至まで、心あらむ人は法華経を一部、或は一巻、或は一品持て或は父母の孝養とす」
（松野殿後家尼御前御返事）

いよいよ諸山巡りも終わりに近付いた蓮長は、河内にある磯長の叡福寺を訪れました。

叡福寺は聖徳太子が推古二十八（六二〇）年に、自らこの地を墓所と定められたとされる由緒ある寺院です。その翌年には太子のご生母である穴穂部間人皇后が崩御され、この地に埋葬されました。そして推古三十（六二二）年、太子のお妃である膳部菩岐々美郎女、そして翌日には後を追うように太子ご自身が相次いで薨去され、共にこの地に追葬されたといわれています。

推古天皇は太子の没後にその菩提を弔わんと願い、ここに御廟をお守りするための僧坊十姻を建立します。それが当寺の始まりであるとされています。更にその後の神亀元（七二四）年には、聖武天皇の勅願によって東院（転法輪寺）、西院（叡福寺）などが建立され、やがて現在の叡福寺に至る伽藍が整えられました。



蓮長はこの叡福寺の太子廟に詣で、そこで七日間の参籠に入ったといわれています。以前に和泉の四天王寺を訪れたことをお話ししましたが、他にも法隆寺夢殿への参詣、そしてこの叡福寺での御廟参と、折にふれ太子縁の寺院を歴訪する蓮長の行いを見れば、やはり蓮長にとって太子は特別な存在であったことが伺えます。それを思えば、この日本国に佛法を弘めた大恩人たる聖徳太子の尊霊に額づき、二十年もの間修め続けた学問の成果をご報告し、そしてその研鑽によって導き出された答えとして、今胸中にはっきりと浮かぶ己が使命への決意を、太子にお誓い申し上げたに違いありません。

やがて七日目の夜を迎え、その行も満ちようとする中で蓮長は夜を通して法華経を読誦していました。すると不思議なことに、誰一人いなかった筈の墓前に眩く輝く人の姿が現れます。蓮長が目をこらしてその姿を見れば、なんとそこに現れたお方は、聖徳太子その人であったのです。

衣冠を正したお姿の太子は、そっと蓮長の前に立たれました。蓮長は驚きながらもそのお顔を拝すると、満面の笑みをたたえておられます。それはまるで、太子ご自身が大切にされた法華経を弘めんと決意する蓮長の思いを、殊の外お喜びになっているような優しい微笑みでした。

倶生神月守をみんなで持ちましょう！

家族みんなで着帯しましょう

倶生神月守（ぐしょうじんつきまもり）

倶生神月守は、宗旨（家の宗教）に関係なく持つことができるお守で「ぐしょうじんつきまもり」と読みます。

日蓮大聖人様は「乙御前御消息」の中で、

「人には必ず二の天影の如くに添いて候。所謂一をば同生天（どうしょうてん）と云ふ、二をば同名天（どうみょうてん）と申す。左右の肩に添いて人を守護すれば失なき者をば天もあやまつ（誤る）事なし。」

倶生神（ぐしょうじん）とは、同生・同名の二人の神様を一緒に言います。人が命を宿した時にすでに守護を始めているとお釈迦様は仰っておられます。お釈迦様と日蓮大聖人様の教えの如く、いつもその人だけを守っている神なのです。

【同生天】…あなたの生命（健康）を守って下さる神さま。

【同名天】…あなたの生活（経済）を守って下さる神さま。

この二神の守護をしっかりと受けるために持つのが「倶生神月守」です。

あなたの倶生神はあなただけを護ります。だれもが持つことができます。

安心・安全・幸せのために、皆で倶生神月守を持ち、家族・友人・知人にも勧めましょう。

●家族みんなで着帯しましょう…家庭円満に安心して過ごせます。

●知人の悩みにも…分かち合うことの喜びを味わえます。

●引っ越しや旅行の時に…方位除け・盗難除けとして。

●霊断を受けたら…まず着帯して下さい。良い結果が訪れます。

※お寺の鬼子母神様、お稲荷様等のお札・お守と一緒に持たれても結構です。

〈大切なこと〉

○お題目を信じ、唱えて下さい。

○いつも肌身離さず、倶生神月守を着帯して下さい。

○毎月、月初めに新しい月守と必ず交換して下さい。

よろこび法話

あきらめずに歩む心

愛媛県今治市法華寺聖徒団団長
愛媛県霊断師会会長
讃岐　英昌

私が、小学校四年生の時、六月四日の朝、布団から起き上がると突然両足が痺れたように動かなくなっていました。私は、「寝違えたかな。少しすれば治るだろう。」と、簡単に考えていましたが、次の日になっても治らないどころか、足の動きは昨日より悪くなっていました。六月六日には足は十センチほどしか上がらなくなっていました。

さすがに、これはおかしいと思い、整形外科に診察に行くと診断結果は筋肉痛でした。しかし、痛みはないので、これは違うと思い、近所の小児科を受診すると症状から、ギランバレー症候群の疑いがあると診断があり、私の住んでいる今治市から二時間ほど離れた所にある愛媛大学附属病院で精密検査を受けることになりました。

検査の結果はやはりギランバレー症候群で、その日のうちに入院することになりました。聞いたこともない病名に初めて親元を離れて一人になる不安に加えて、症状は進行して足だけではなく手の握力も弱くなっていました。

治療が始まっても効果はなかなか出ず、不安は増すばかり。そんな時お見舞いに来てくれた師父が、「つらい時は、南無妙法蓮華経とお唱えしなさい。必ず仏様が良い方に導いてくださる。」と、話してくれました。私はつらい時や不安に押しつぶされそうなとき、布団の中で手を合わせて、お題目をお唱えしました。

当初は半年の入院予定が、わずか十六日で退院することができました。病院を退院して自宅に戻っても、手足の力は戻っていないので、リハビリをしながら少しずつ日常を取り戻しました。今日は立てるようになった。今日は一歩、歩けるようになったと言うように、本当に少しずつですが体も動くようになりました。

学校も二学期から通うことができました。通うと言っても、師父に学校まで送ってもらい、三階の教室まで背負って運んでもらいました。教室の戸を開くとクラスメイトが、「お帰り。」「お帰り。」の声に、割れんばかりの拍手で迎えてくれました。学校生活も先生や友達の力を借りて、生活出来るようになりました。

それから、リハビリもかねて下校の迎えの時に下駄箱の前で待っていたのを、正門まで歩き、次は一番近い電信柱を目標にして、少しずつ距離を伸ばしていきました。しかし、問題が一つありました。それは、学校と自宅の途中には商店街がありました。歩けるとはいっても、まだまだ足に力が入らないので、どうしても足を引きずるような歩き方になるので、人目を引いてしまいます。かなり悩みましたが、商店街を進むことにしました。意を決して進んでいくと、買い物中のご婦人二人がこっちを見ていました。ご婦人二人は小声で話しているつもりなのですが、その声は私の耳に入ってきました。

「見て！あの子かわいそうに、足が悪いのよ。たいへんね、かわいそうにね～」

覚悟はしていましたが、涙がこみ上げてきました。そのとき思い出したのは師父の「つらい時はお題目」の言葉でした。心の中でお題目を唱えながら、留まることなく前に進みました。こうして、二年かけてようやく普通に生活できるようになりました。

それ仏道に入る根本は信をもって本とす。中略　たとひ悟り無けれども信心ある者は鈍根も正見の者なり

「法華題目鈔」

私は、お題目の功徳でどんなにつらいことが有っても、あきらめることなく前へ前へと進むことができました。その結果として、体も治り、普通の生活に戻ることができたのです。今があるのも、最初は師父の「つらい時は、南無妙法蓮華経とお唱えしなさい。必ず仏様が良い方に導いてくださる。」という一言から始まりました。

歩んだ先にこそ本当の幸せが待っているのです。歩む先を照らし、勇気を与えてくれるのが、南無妙法蓮華経のお題目なのです。

これからもお題目を唱えながら、倶生神月守を着帯して、あきらめずに一歩一歩あゆんでまいりましょう。

本誌イラスト　小川けんいち

お知らせ

皆さまのご要望にお応えして、４月号から誌面が一新されます！
お楽しみに!!

全国のよろこびちゃん vol.41

北海道上川郡東川町
妙正寺聖徒団
（右）野呂柚月（のろゆづき）ちゃん　小学４年生
（左）野呂美羽（のろみう）ちゃん　小学２年生

いつも一緒のなかよし姉妹。
元気一杯笑いが絶えません。

全国のよろこびちゃん vol.42

北海道上川郡東川町
妙正寺聖徒団
（右）錦川朔太（にしきがわさくた）くん　２歳
（左）錦川陽生（にしきがわはるき）くん　４歳

おじいちゃんのお誕生日。
ケーキで一緒にお祝いしました。

全国のよろこびちゃんを募集しています！

砥森山
法華寺
生きて救われの道場
住　職　阿部 是秀
副住職　阿部 是眞
〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國随一
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長　小泉　輝泰
「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店
◇格調高い関東風仏具◇
宗務院指定
仏壇・仏具　仏像彫刻
内陣荘厳具　設計製作
(株)中野三佛屋
東京都台東区寿2丁目7の12
電　話　03 (3843) 6951
ＦＡＸ　03 (3843) 6973
定休日　日曜日

利生寺

日蓮宗霊断師会会長
利生寺聖徒団団長
末吉　觀道
〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776　FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗霊断師会　副会長
日蓮宗宗会議員
正蓮寺聖徒団　団長
大塩　孝信
〒290-0151　千葉県市原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288